

北海道がんセンター通信

2022

第61号

AUGUST



CONTENTS

● 副院長 就任のご挨拶	副院長 大泉 聡史 ……	2
● 事務部長 就任のご挨拶	事務部長 原田 康司 ……	2
● 各科トピックス 「放射線治療科」	放射線診療部長 西山 典明 ……	3
● 新任医師紹介 ……		4~6
● 院内がん登録統計報告	院内がん登録係長 齋藤 真美 ……	7~9
● 新人看護師研修の紹介	教育研修係長 近 麻美 ……	10
● 北海道がんセンター患者サロンのご案内 ……		11
● 「北海道がんサポートハンドブック 2022」が発行されました！ ……		11
● がん検診のご案内 ……		12

北海道がんセンターの理念
私たちは、国民の健康のために、良質で信頼される医療の提供に努めます。

(基本方針)

- 1 都道府県がん診療連携拠点病院の使命を果たします。
- 2 常に医療の質と技術の向上を目指します。
- 3 医療安全を確保し、安心できる医療を提供します。
- 4 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 5 研究、教育研修を推進し、医学・医療の発展に寄与します。

副院長 就任のご挨拶



副院長（呼吸器内科） 大泉 聡史

本年4月より当院の副院長に就任させていただきました呼吸器内科の大泉聡史と申します。この場をお借りしまして就任のご挨拶をさせていただきます。

最近になって、各臓器のがんの診断および治療は大きな変遷を遂げてきました。診断面ではがんゲノム医療が保険償還され、新たな作用機序をもつ薬剤の開発も各領域ですすんでいます。特に治療については、異なった作用機序をもつ薬剤の併用療法が次々と保険承認され、それらの治療法の周術期への応用、さらには放射線療法との併用など、ますますがん治療が複雑化してきており、立ち遅れない努力が求められています。

この2年間は新型コロナウイルス感染により、我々の日常診療が大きく影響を受けました。2021年の検診者数はコロナ感染蔓延前の2019年に比べて10%程度減少と依然低い水準となっており、実際に私が専門の肺がん分野では、コロナ感染前と比較して、手術が14.5%減少、放射線治療が8.1%減少、そして薬物療法は16.3%の減少率と報告されています（日本肺癌学会2021～2022年の調査報告）。

このような状況の中で、自分がどのように北海道がんセンターの臨床および研究に貢献できるのか、さらには生まれ育った北海道のがん診療をどのように支えることができるのかを常によく考えて、副院長としての責務を果たしていく所存であります。

また当院の地域医療連携室長も併任しておりますので、皆様との病診連携の面でもご支援をいただく機会が多々あるかと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務部長 就任のご挨拶

事務部長 原田 康司



本年4月1日に就任いたしました原田と申します。当院は4年振り5回目の勤務です。改めましてどうぞよろしくお願い申し上げます。

この度、新病院に勤務しますのは非常に感慨深いものがあります。と申しますのは、課長として在籍していた3年のうちに、“入札により施工業者の決定～安全祈願祭を実施～別館と本館低層部（検査棟）及び空中通路の完成～新棟へ引越し～病棟一部の切り離し～切り離れた病棟、内視鏡、放射線、検査部門、各科医局、大講堂などの解体”という非常に濃い前半工事に携わったものの、後

半工事となる本館高層部の建築前に転動してしまったからです。より難工事であった後半工事を担った皆様のご苦労は大変だったと存じます。

新病院が全面オープンして半年以上が経過しようとしておりますが、引き続き運用面を見直しまして当院をご利用する皆様並びに近隣にお住まいの皆様「建て替えて良かった」と言っていたような病院にしていければと思っております。

また、当院は都道府県がん診療拠点病院として北海道におけるがん診療の中心的役割を担っていることから、北海道や札幌市、北海道医師会、患者会等と協働しながら拠点病院の役割を果たしていかなければなりません。

事務部門として信頼される病院運営となるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



菊水3号線を挟んで別館から旧棟を撮影
(2019年3月6日撮影)

放

射線治療科

「診療科トピックス・放射線治療科」

放射線診療部長
西山 典明

当院は2021年10月15日に駐車場完成をもって新病院グラウンドオープンとなりましたが、放射線治療部門はその3年前の2018年9月に旧棟1階から現在の新棟地下1階に移転し、運用を開始して早くも4年弱となります。この間2020年4月には第2期工事のさなかに旧病棟にて新型コロナクラスターが発生し、放射線治療も1週間休止を余儀なくされた事がありました。その後全国に新型コロナ感染が広がる中で、がん治療にも多大な影響を与え、放射線治療も治療延期や治療期間短縮の方向に向かいました。当院でも前立腺に対する強度変調放射線治療を週4回（月・火・木・金）の7週間から週5回の6週間弱に短縮しました。

また、この間2つの新しい治療が開始しています。1つめは2020年度診療報酬改訂で定位放射線治療の適応拡大があり、特に①直径5cm以下の転移性脊椎腫瘍、②5個以内のオリゴ転移が適応となりました。背景には分子標的薬や免疫チェック阻害薬の開発に伴う薬物療法の進歩により生存期間が延長することにより、遠隔転移の制御が必要になってきたことが上げられます。またオリゴ転移とは遠隔転移があっても少数個の転移であり、定位放射線治療をすることにより腫瘍の制御期間や生存期間が延長することが臨床試験で示されています。当院でも2020年11月から転移性脊椎腫瘍およびオリゴ転移に対する体幹部定位照射を開始しています。図1に当院で行った脊椎転移に対する線量分布を示します。腫瘍には十分な線量を照射しつつ、障害を起こしうる脊髄には耐容線量以内に押さえるように2回で治療が行われています。

2つめは2020年9月の病棟移

転時に高線量率小線源装置も地下1階に移転し、X線写真で行われていた小線源治療の治療計画がCTで行えるようになったことです。これに伴い特に子宮頸がんでは腫瘍に対する線量の過不足が分かるようになり、線量不足の部位に対して図2で示すような組織内照射を併用したハイブリッド治療が可能になっています。またほとんどの方でミダゾラムを用いた鎮静をかけることにより、今までは「お産よりも痛かった」といわれていた治療が、治療自体を覚えていない状態で、心理的にも楽に治療が出来る様になったと思われています。尚、病棟移転時に低線量率密封小線源治療室も新しくなり、シャワーブースも併設され、長期間の治療時にも快適に過ごせるようになりました。

以上少しずつですが、より高精度で患者さんの苦痛が少しでも軽減できる治療を目指して、これからもできることを増やしていきたいと思っています。

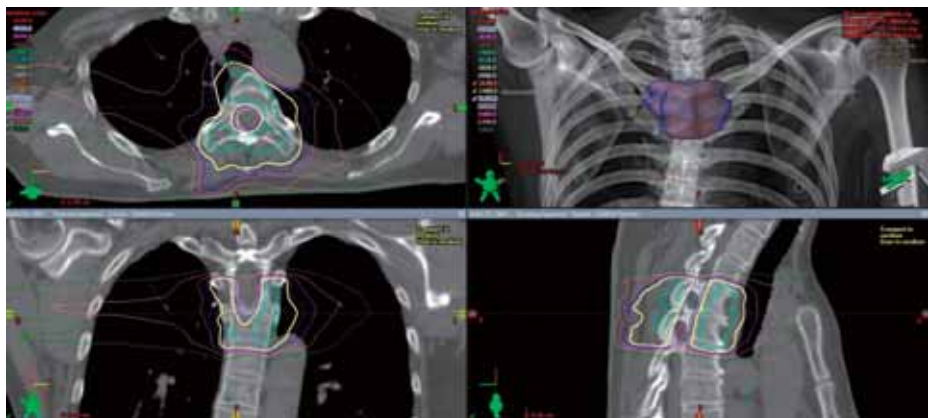


図1

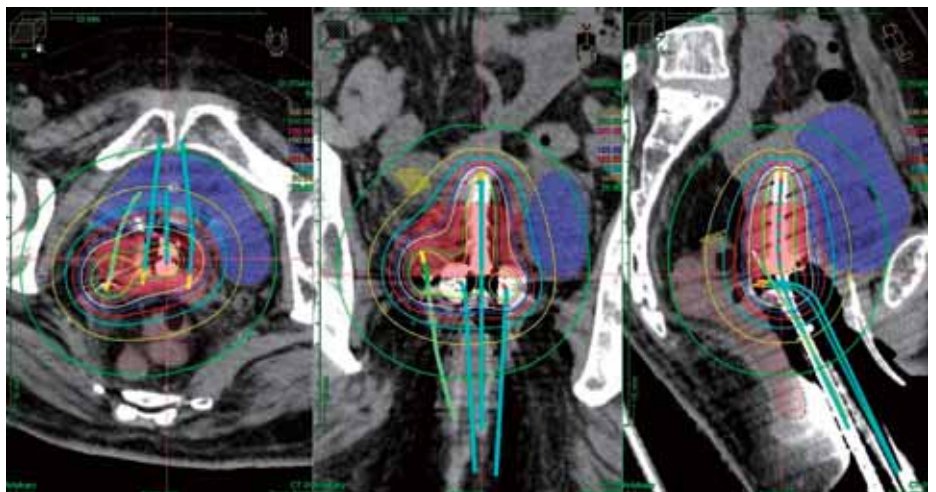


図2

新任医師紹介

血液内科



① 江端 浩 ②えばた こう

③血液内科 医師 ④血液学一般、造血幹細胞移植、内科一般 ⑤日本内科学会、日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会 ⑥2022年4月より当院に赴任させていただきました。造血幹細胞移植など様々な医療機関での診療に携わらせていただいた経験も活用し、全力で対応させていただきます。血液内科はイメージしにく

い分野かと思いますが、「リンパ節が腫れた」、「血液の異常」などを突破口に全身の問題点を把握し、診断・治療につなげる診療科です。がん診療以外の分野でのご相談も大歓迎です。場合によっては他の診療科・他院への橋渡しも行います。内科一般のお困りの場合や迷われる場合もご遠慮なくご相談ください。診療所・クリニック並びに血液内科のない総合病院の先生方におかれましてはお困りの場合には お電話などでのご相談も対応させていただきます。お気軽にご相談ください。ぜひ、当院血液内科をよろしく願っています。

消化器内科



① 田村 文人 ②たむら ふみと

③消化器内科 医師 ④消化器（肝胆膵） ⑤日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本癌治療認定医機構。専門医：日本内科学会認定医・総合内科専門医、消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化器病学会専門医、肝臓学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医 ⑥2022年4月より消化器内科医師として赴任しました田村文人（タムラ フミト）と申します。2004年に

札幌医科大学を卒業し、2年間の初期臨床研修を終了し、KKR札幌医療センター斗南病院で消化器内科の後期研修医として研修を終了後に札幌医科大学第4内科（腫瘍内科学講座血液内科学）に入局しました。その後は、札幌医科大学付属病院、苫小牧王子総合病院、八雲総合病院、北海道がんセンター、札幌清田病院で勤務し、現職となっています。北海道がんセンターには以前も勤務させていただいてまして4年ぶりとなります。専門領域は、消化器内科（肝胆膵領域）です。今後は、がん治療や内視鏡治療、肝炎の診断と治療などにも力を入れていきたいと考えています。地域の皆様に貢献できますように微力ながら頑張ってきたと思いますので、今後ともよろしく願っています。

呼吸器内科



① 佐藤 祐麻 ②さとう ゆうま

③呼吸器内科 医師 ④呼吸器内科 ⑤日本内科学会、日本呼吸器学会、日本肺癌学会、日本呼吸器内視鏡学会 ⑥呼吸器内科医師の佐藤祐麻と申します。札幌市出身で北海道大学医学部を卒業し、これまで帯広厚生病院や苫小牧の王子総合病院、北海道大学病院呼吸器内科等での

勤務を経て、今年度より北海道がんセンター呼吸器内科に赴任させていただいております。肺がん領域は新規薬剤の開発がめざましく、日進月歩な分野になりますが、地域の皆様に貢献し患者様の力になれる様、精進し日々の診療に励んで参りたいと思います。これまで地方での勤務が多く札幌市の市中病院で勤務が久しぶりであり、不慣れな点も多く御迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、どうかよろしく願います。

循環器内科



① 本谷 光咲子 ②ほんたに みさこ

③循環器内科 医師 ④循環器疾患全般、不整脈 ⑤日本内科学会、日本循環器学会、日本不整脈心電学会、日本心臓リハビリテーション学会 ⑥今年4月から赴任しました、循環器内科の本

谷と申します。現在医師12年目になります。出身は札幌ではありますが、今までは道北圏で働いており、前任は旭川医大病院で、不整脈や心臓リハビリの仕事を中心にしておりました。札幌に戻るの久しぶりでまだまだ慣れませんが、皆様の力になれるよう診療に努めます。どうぞよろしく願います。

消化器外科



① 加藤 拓也 ②かとう たくや

③消化器外科 医師 ④消化器外科 ⑤日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本癌学会、日本臨床外科学会など ⑥今年度より赴任させていただきました消化器外科の加藤と申します。昨年度までは大学院で肝臓がんの研究をしておりました。久々の病院勤務となりますが、患者様や手術に

向き合える日々を過ごすことができ喜びを感じております。当院はがん治療の中核病院であり難しい症例も多いですが、抗がん剤治療や放射線治療を組み合わせ、他科と協力をすることで集学的ながん治療を行うことができる点が強みと感じております。またロボット手術にも力を入れており、できるだけ低侵襲かつ安全に治療を行うことができる環境でもと感じております。私自身も日々研鑽を積み、当院で北海道のがん治療に少しでも貢献できるよう尽力したいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。

消化器外科



① 鈴木 琢士 ②すずき たくと

③医員 ④消化器外科 ⑤日本外科学会、消化器外科学会、臨床外科学会など ⑥今年で医師7年目になります。鈴木 琢士と申します。2022年4月1日から北海道がんセンターの消化器外科に赴任することとなりました。これまでは各地の中核病院にて外科医として、日々研鑽を重ねてまいりました。まだまだ若輩

者の消化器外科医であり、専門や際立った技術があるわけではありませんが、毎日元よく、皆が笑顔になれるよう心掛けて働いております。当科は全員が素晴らしい人で、チームワークもよく、院内にあります様々な診療科の医師やスタッフとも協力して高度ながん治療やそれにかかわる様々な治療を行っております。そんな中で、多くのことを学びながらみなさまの健康に一つでもお役に立てますよう、日々がんばってまいります。いたらぬ点も多くご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、よろしくお願いいたします。

消化器外科



① 石塚 千紘 ②いしづか ちひろ

③医員
④消化器外科
⑤日本外科学会、消化器外科学会、臨床外科学会、内視鏡外科学会など
⑥今年度より北海道がんセンターに着任しました、医師6年目の石塚千紘と申します。これま

では胆振や中空知の中核病院等に勤務し、救急疾患～緩和治療まで幅広く経験してきました。今回悪性腫瘍に特化した高度な医療に携わることとなり、これまで以上にスキルアップできるよう日々研鑽して参りたいと思います。最近の休日の趣味はドライブと温泉に行くことです。どこか良い温泉をご存じの方がいらっしゃいましたら、ご教授ください。今後ともよろしくお願いいたします。

頭頸部外科



① 山田 真司 ②やまだ しんじ

③医師 ④耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ⑤日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ⑥このたび、縁あって4月から勤務させていただくことになりました。かつて当院頭頸部外科に勤務されていた山田先生と同じ名字ですが、残念ながら全く関係はございません。地域医療に貢献できますよう頑張ってお参ります。ど

うぞ宜しくお参り致します。頭頸部がんの診療・治療に際しては、必要に応じて放射線治療科や消化器内科、歯科口腔外科といった他科との連携を密にとりながら、個々の患者様にとって最適な医療を提供して参る所存です。道外出身で、小さい頃から地元で空手道(剛柔流)をやっていたのですが、北海道の空手道は松濤館流や糸東流などの他流派が強く、道内全域を探しても剛柔流の道場はごく僅かしかないのが悩ましい日々です。現状を嘆いていても何も始まらないので自主トレを頑張っています。

泌尿器科



① 山口 裕之 ②やまぐち ひろゆき

③泌尿器科 医師
④泌尿器科
⑤日本泌尿器科学会
⑥令和4年4月より勤務させていただいております泌尿器科の山口裕之と申します。出身は北広島市で、平成31年に弘前大学医学部を卒業後

は市立釧路総合病院で初期研修を行い、その後北大泌尿器科に入局し釧路での1年間の勤務を経て当院へ赴任して参りました。当院は北海道のがん拠点病院として道内他施設からの相談症例なども多く、非常に悩ましい症例も多いですが、経験豊富な指導医・スタッフのもと充実した日々を過ごしております。まだまだ至らぬ点が多くご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、皆様のお力になれるように精進して参ります。今後とも何卒よろしくお願い致します。

麻 酔 科



① 渡辺 麻由 ②わたなべ まゆ

③医師
④麻酔全般
⑤日本麻酔科学会
⑥初めまして。令和4度より着任致しました渡辺麻由と申します。旭川医科大学を卒業後、麻

酔科を専攻してからは旭川医大病院や函館五稜郭病院で勤務しました。患者様が安心して手術を受けられるよう、安心安全で丁寧な診療を心がけています。当院では末梢留置型中心静脈カテーテルの挿入を麻酔科医が手術室で担当することも多く、手術を受けられない患者様とも接する機会があります。全ての患者様に寄り添った医療を提供できるよう日々努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

放射線診断科



① 金谷 本真 ②かなや もとま

③放射線診断科 医師 ④IVR、画像診断 ⑤日本医学放射線学会、日本IVR学会、日本超音波医学会 ⑥今年度より北海道がんセンターに勤務させていただいております。北海道内のあらゆるがん患者様の力になれるように、迅速で正確な画像診断を提供できるように日々努力しております。画像診断はもちろんのこと、IVRも

得意領域としており、昨年度まで勤務していた施設では特に経皮的椎体形成術（日本IVR学会HP 市民の方向けパンフレット：https://www.jsir.or.jp/docs/kouhoukara/PR_PDF/Q&A/15.pdf）を盛んに施行してまいりました。骨粗鬆症による圧迫骨折での腰痛を抱えている方（特に偽関節形成を伴う方）、脊椎骨転移による体動痛を抱えている方に対して適応となります。そのような症状を抱えている方がいらっしゃいましたら、症状緩和にお力になれる可能性がありますので、気軽にご相談いただければ幸いです。どうか宜しくお願致します。

放射線診断科



① 高野 雄大 ②たかの ゆうき

③放射線診断科 医師 ④放射線診断 ⑤日本医学放射線学会 ⑥このたび、北海道がんセンター放射線診断科に着任いたしました。放射線診断科は皆さまと直接診察でお会いしたり、治療に携わることが少ない専門分野なので、あまり馴染みのない方も多いかもしれません。最近では、ラジェーションハウスというドラマで画像診断医が取り上げ

られていたと思います。ドラマでもあるように、放射線診断科では、日々皆さまが検査で撮られた画像（CTやMRI）に異常がないか確認（読影）しています。想定外の異常があれば、読影レポートに記載し、適切な医療を提供できるように主治医の先生と直接相談することもあります。また、リアルタイムで画像を映しながら血管内治療などの治療を行う画像下治療（IVR）なども行っております。私はまだまだ画像診断の経験が浅く、先輩医師の元で研鑽を積んでいる最中ですが、皆さまが適切な医療を受けられるよう日々努力して参りますので、何卒よろしくお願いたします。

病理診断科



① 若林 健人 ②わかばやし けんと

③病理診断科 医師 ④まだ決めておりません ⑤日本病理学会 ⑥この度、4月から着任しました病理診断科の若林と申します。実は2年ほど前にも北海道がんセンターで仕事をさせて頂いたことがあり、今回は2度目の着任となります。現在後期研修中で、専門医資格を取得するべく励んでいます

す。専門分野も今のところ未定ですが、病理は関わる診療科・臓器が非常に幅広く、日々興味深く仕事をしております。趣味は読書で、特に通勤・退勤中に電車の中で本を読む時間が1日の楽しみです。なぜか電子書籍は文章に集中できないので、紙の本を好んで読みます。おかげで本棚のスペースが増え続ける一方で愛着もあり捨てられず、蔵書をどうしたものかが目下の悩みです。どなたか良案があれば教えて下さいませ。何かと至らない点もあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願致します。

口腔腫瘍外科



① 廣末 晃之 ②ひろすえ あきゆき

③歯科 医師 ④口腔外科 ⑤日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本口腔腫瘍学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔内科学会、日本顎変形症学会 ⑥4月より口腔腫瘍外科に着任しました。3月までは九州の熊本大学病院歯科口腔外科に在籍しており、北海道は勤務するもの住むのも初めての地域となります。北海道がんセンター口

腔腫瘍外科は日本でも有数の口腔がんの症例数を誇る病院であり、手術、薬物療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療を行っております。また、様々な診療科や職種の方と密な連携をし、質の高い治療を行っております。その診療科の一員として診療に携われることを嬉しく思います。これまで大学病院でも口腔がんの診療、研究に従事してきましたので、その経験も生かしながら、患者様に寄り添った医療を提供できるように努めていきたいと思っております。患者様の口腔の健康を守り、QOLの維持・向上を目指した質の高い治療を提供できるよう、日々精進していく所存です。どうぞ宜しくお願申し上げます。

歯科口腔外科



① 服部 倫寛 ②はっとり みちひろ

③歯科 医師 ④歯科口腔外科 ⑤口腔外科学会、口腔内科学会、口腔科学会 ⑥今年4月より北海道がんセンター歯科口腔外科に着任しました。慣れない環境で戸惑うこと

も多いのですが、周囲の皆様のサポートにより最近ではスムーズな診療が行えるようになってきました。患者の皆様とは全身麻酔手術前、化学療法や放射線治療前にお会いする事が多いかと思いますが、皆様のがん治療の手助けができるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願致します。

院内がん登録統計報告

- * 表1以外、症例区分80（その他）を除いて集計した。
- * 男女比は女性を1としたときの男性の比率である。
- * 症例数1件以上10件未満の場合は、実数公表はせず、1～3件、4～6件、7～9件として公表している。
- * 2022年5月時点の集計値である。

表1 登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
【症例区分80を含む】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	2541		2523		2432		2634		1877		2476	
男性	1050	(41.3%)	1024	(40.6%)	991	(40.7%)	1005	(38.2%)	663	(35.3%)	962	(38.9%)
女性	1491	(58.7%)	1499	(59.4%)	1441	(59.3%)	1629	(61.8%)	1214	(64.7%)	1514	(61.1%)
【症例区分80を除く】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	2523		2478		2384		2609		1847		2437	
男性	1043	(41.3%)	1001	(40.4%)	968	(40.4%)	994	(38.1%)	652	(35.3%)	944	(38.7%)
女性	1480	(58.7%)	1477	(59.6%)	1416	(59.6%)	1615	(61.9%)	1195	(64.7%)	1493	(61.3%)
男女比	0.7047		0.6777		0.6836		0.6155		0.5456		0.6323	

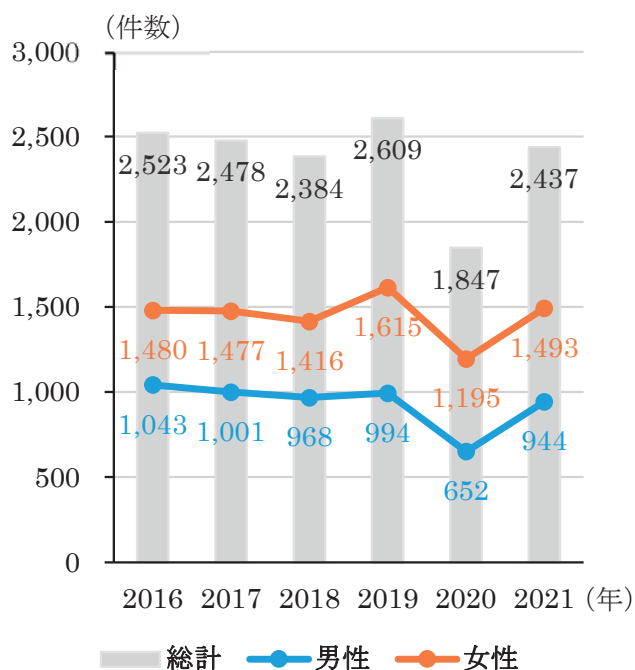


図1 登録数の年次推移

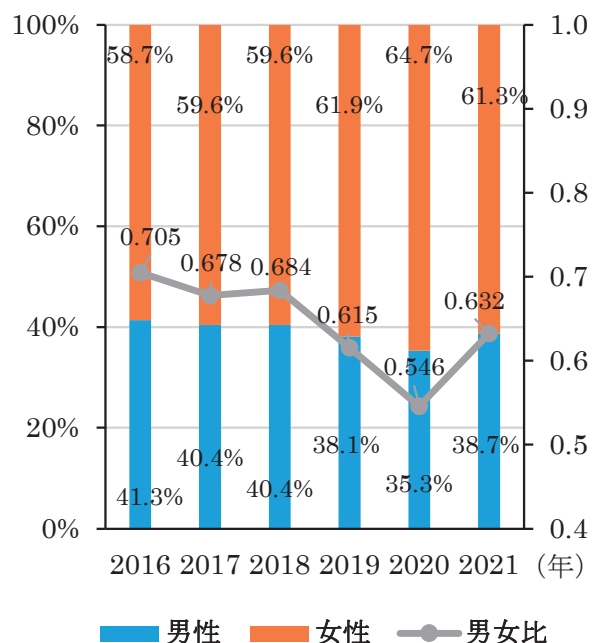


図2 男女比の年次推移

- * 2020年診断症例の登録数はCOVID-19の影響により大きく減少したが、2021年診断症例では増加に転じた。
- * 男女の登録割合は、女性が半数以上を占めている。

表2 登録数の年次推移（部位別）

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	78	(3.1%)	95	(3.8%)	87	(3.6%)	100	(3.8%)	73	(4.0%)	89	(3.7%)
食道	35	(1.4%)	23	(0.9%)	30	(1.3%)	32	(1.2%)	25	(1.4%)	21	(0.9%)
胃	99	(3.9%)	75	(3.0%)	92	(3.9%)	88	(3.4%)	66	(3.6%)	85	(3.5%)
大腸	156	(6.2%)	146	(5.9%)	129	(5.4%)	160	(6.1%)	94	(5.1%)	138	(5.7%)
肝	27	(1.1%)	35	(1.4%)	29	(1.2%)	22	(0.8%)	22	(1.2%)	28	(1.1%)
胆のう・胆管	19	(0.8%)	(7-9)	-	11	(0.5%)	13	(0.5%)	(4-6)	-	10	(0.4%)
膵臓	52	(2.1%)	30	(1.2%)	30	(1.3%)	47	(1.8%)	37	(2.0%)	38	(1.6%)
喉頭	(7-9)	-	(4-6)	-	(7-9)	-	(7-9)	-	(4-6)	-	10	(0.4%)
肺	444	(17.6%)	398	(16.1%)	389	(16.3%)	373	(14.3%)	308	(16.7%)	371	(15.2%)
骨・骨軟部	62	(2.5%)	75	(3.0%)	58	(2.4%)	67	(2.6%)	51	(2.8%)	60	(2.5%)
皮膚	16	(0.6%)	18	(0.7%)	(7-9)	-	12	(0.5%)	(1-3)	-	(4-6)	-
乳房	509	(20.2%)	514	(20.7%)	524	(22.0%)	607	(23.3%)	478	(25.9%)	616	(25.3%)
子宮頸部	240	(9.5%)	270	(10.9%)	226	(9.5%)	284	(10.9%)	172	(9.3%)	191	(7.8%)
子宮体部	92	(3.6%)	98	(4.0%)	107	(4.5%)	117	(4.5%)	92	(5.0%)	101	(4.1%)
卵巣	58	(2.3%)	69	(2.8%)	76	(3.2%)	76	(2.9%)	50	(2.7%)	71	(2.9%)
前立腺	206	(8.2%)	210	(8.5%)	196	(8.2%)	209	(8.0%)	97	(5.3%)	189	(7.8%)
腎・他の尿路	90	(3.6%)	77	(3.1%)	76	(3.2%)	88	(3.4%)	53	(2.9%)	97	(4.0%)
膀胱	61	(2.4%)	78	(3.1%)	53	(2.2%)	61	(2.3%)	47	(2.5%)	79	(3.2%)
脳・中枢神経系	34	(1.3%)	16	(0.6%)	13	(0.5%)	20	(0.8%)	16	(0.9%)	25	(1.0%)
甲状腺	22	(0.9%)	20	(0.8%)	17	(0.7%)	18	(0.7%)	(4-6)	-	18	(0.7%)
悪性リンパ腫	71	(2.8%)	106	(4.3%)	90	(3.8%)	68	(2.6%)	71	(3.8%)	70	(2.9%)
多発性骨髄腫	29	(1.1%)	17	(0.7%)	19	(0.8%)	20	(0.8%)	(7-9)	-	12	(0.5%)
白血病	14	(0.6%)	11	(0.4%)	15	(0.6%)	13	(0.5%)	(4-6)	-	(7-9)	-
他の造血器	16	(0.6%)	(7-9)	-	11	(0.5%)	(7-9)	-	(1-3)	-	(4-6)	-
その他	85	(3.4%)	74	(3.0%)	88	(3.7%)	98	(3.8%)	58	(3.1%)	98	(4.0%)
合計	2523		2478		2384		2609		1847		2436	

* 悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の血液腫瘍の合計を「血液疾患」としてまとめた。

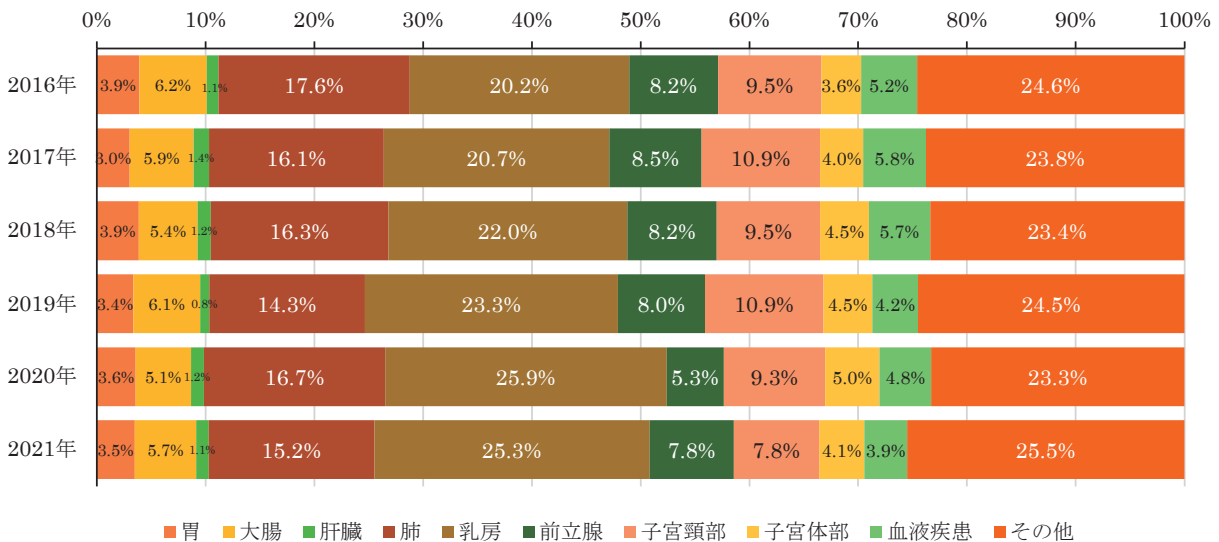


図2-1 登録数の部位別割合

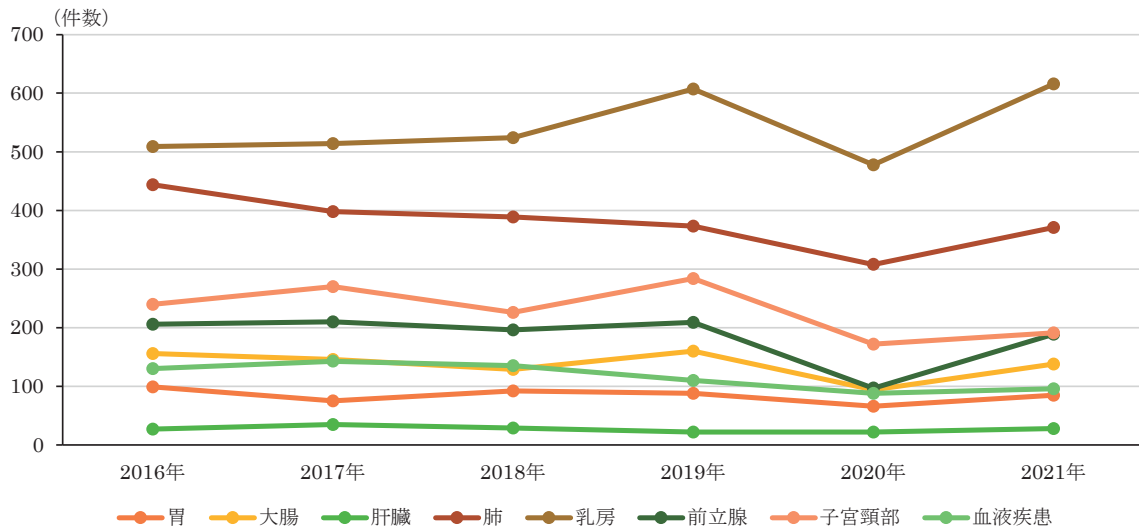


図 2-2 部位別登録数の推移

* 乳房が、全登録数の約1/4を占めており、次いで、肺、子宮頸部、前立腺の順となっている。

表 3 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2016		2017		2018		2019		2020		2021	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39	33	(3.1%)	29	(2.8%)	14	(1.4%)	26	(2.6%)	17	(2.6%)	24	(2.5%)
40-64	259	(24.7%)	234	(22.9%)	266	(26.8%)	249	(24.8%)	139	(21.0%)	211	(21.9%)
65-74	405	(38.6%)	415	(40.5%)	387	(39.1%)	382	(38.0%)	276	(41.6%)	404	(42.0%)
75-84	289	(27.5%)	288	(28.1%)	263	(26.5%)	281	(28.0%)	191	(28.8%)	269	(28.0%)
85以上	64	(6.1%)	58	(5.7%)	61	(6.2%)	67	(6.7%)	40	(6.0%)	54	(5.6%)
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39	159	(10.7%)	190	(12.7%)	153	(10.6%)	147	(9.0%)	95	(7.8%)	131	(8.7%)
40-64	641	(43.0%)	682	(45.5%)	655	(45.5%)	783	(48.1%)	548	(45.1%)	712	(47.0%)
65-74	404	(27.1%)	355	(23.7%)	357	(24.8%)	390	(23.9%)	318	(26.2%)	372	(24.6%)
75-84	226	(15.2%)	216	(14.4%)	217	(15.1%)	243	(14.9%)	188	(15.5%)	230	(15.2%)
85以上	61	(4.1%)	56	(3.7%)	59	(4.1%)	66	(4.1%)	65	(5.4%)	69	(4.6%)

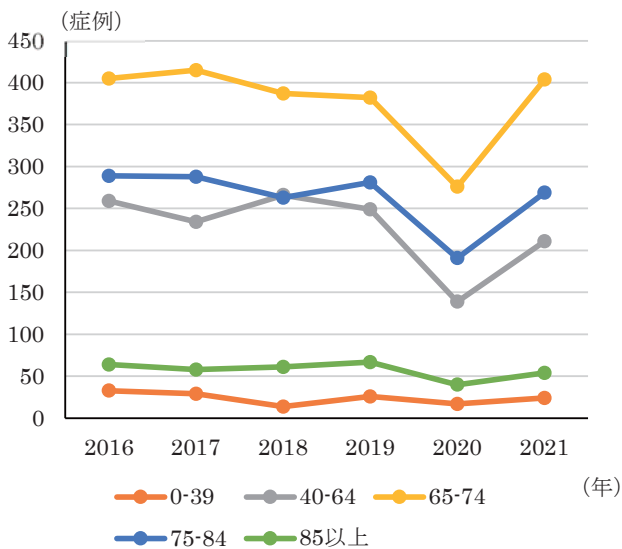


図 3-1 年齢階級別登録数の推移 (男性)

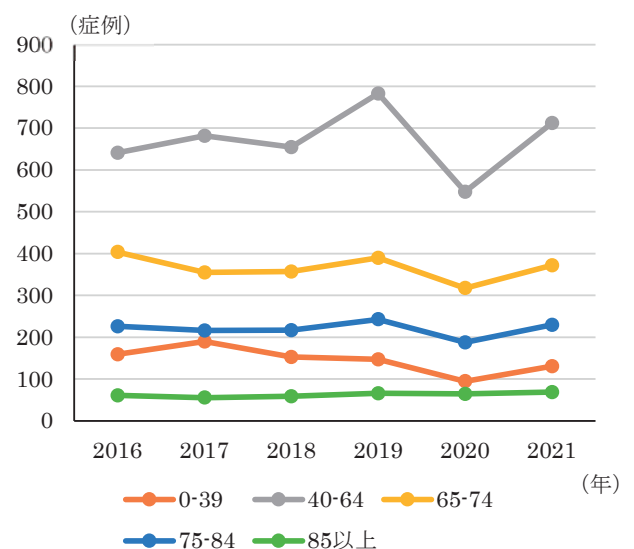


図 3-2 年齢階級別登録数の推移 (女性)

* 男性では65-74歳代の登録数が一番多かった。

* 女性では40-64歳代の登録数が一番多かった。

(報告：院内がん登録室 齋藤 真美)

新人看護師 研修の紹介

北海道がんセンター看護部は、今年度新人看護師さんを41名お迎えして新たなスタートをきりました。コロナ禍で実習ができず不安を抱えながらも、今は入職して3カ月が経過し、現在は見習いで夜勤勤務も開始しています。そこで、当院の新人看護師の研修プログラムについてご紹介します。

・感染対策・

入職時、患者さんそして自分と職員を感染から守るため、手洗いと手指消毒の方法、ガウンの着方など感染管理認定看護師の指導のもと、講義と演習で身に付けます。

・新人看護師静脈注射研修・

薬剤を安全に患者さんへ実施することを目標に静脈注射研修が計7回実施されます。注射薬を混合する、留置針を留置する、ポート針を穿刺するなどの演習を行い、技術を習得します。さらに、薬の作用・副作用などの知識を養うことで、異常を判断できる看護師を育成します。



・コミュニケーション研修・

新人看護師は入職して3カ月がつらさのピークであると言われています。仕事の失敗による無力感や慣れない環境による緊張などがあるためです。そこで新人看護師が自己のストレスを自覚し対処することができることを目的として開催されるリフレッシュを交えた研修です。仲間と悩みや思いを共有し、支え合うことで、「また明日から頑張ろう！」と思えるようにサポートします。

・急変対応研修・

病院では、突然患者さんが急変することがあります。このような予期せぬ事態に落ち着いて行動し、患者さんの命を救うための技術を習得します。心臓マッサージや気管内挿管の介助の講義、そして、夜勤想定でシミュレーションを行います。

新人さんの声

入職当初は緊張や不安でいっぱいでしたが、先輩方の優しく丁寧なサポートを受けながら日々成長できるように頑張っています。患者さんとの関わりを大切にし、より良い看護を提供できるよう学んでいきたいと思っています。

看護師としてスタートし、3カ月。業務に不慣れで不安もありますが、先輩方の優しいご指導の下で心強く安心して日々励んでおります。

今後は、更に知識・技術を身に付け、患者さんやご家族の思いに寄り添い、心のこもった看護を届けられるよう精進していきます。

私は術後急性期から回復期まで、和気あいあいとした先輩方と、日々変化する患者さんの看護をしていてとてもやりがいを感じています。

今後の目標は、がんと向き合っている患者さんの心に寄り添い、身体だけでなく精神面もサポートしていける看護師になりたいです。



みんな笑顔で一生涯懸命頑張っています。患者さんに心のこもった看護を提供できるようにサポートしていきます。

(報告：教育研修係長 近 麻美)

北海道がんセンター患者サロンのご案内

北海道がんセンターではがん患者さんが語らえる患者サロンを定期的を開催しています。

今は新型コロナウイルス感染予防のために集合での開催は行わず、すべてオンラインで行っており、以下の日程で開催しています。



● 乳がんオンラインサロン (毎月第3木曜日 13:30~14:30)

乳がん患者さんを対象とした患者サロン

● 卵巣がんオンラインサロン (毎月第3火曜日 13:30~14:30)

卵巣がん患者さんを対象とした患者サロン

● ピアーズサロンオンライン (毎月第2金曜日 14:00~15:00)

おおむね40歳代の方が集まる患者サロン

● ひだまりオンラインサロン (毎月第2水曜日 10:00~11:00)

(毎月第4金曜日 13:30~14:30)

がん患者さんや家族などの交流の場として、誰でも気軽に立ち寄れるような患者サロン

各患者サロンへのお問い合わせは、

北海道がん総合相談支援センター

(電話：011-811-9111 内線2311 (平日9:30~16:00))

までとなっております。お気軽にお問い合わせをお願いいたします。

「北海道がんサポート ハンドブック2022」が 発行されました！

毎年発行している「北海道がんサポートハンドブック」の2022年度版が完成しました。

がんと診断された患者さん、ご家族が活用できる相談窓口の紹介の他、様々な情報を掲載しております。がん診療連携拠点病院、北海道がん診療連携指定病院や各市町村役場に配布しているほか、北海道や当院ホームページからも閲覧、ダウンロードできますのでご確認ください。



ご希望の医療機関には郵送しておりますのでお問い合わせください

北海道がんセンター がん検診のご案内

完全予約制

● 4大がん検診

- 腹部エコーにより肝臓を中心に観察
 - 胃内視鏡（胃カメラ）による上部消化管検診
 - 便潜血反応による大腸がんスクリーニング
 - 低線量CTによる肺がん検診
- 毎週水曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40
毎週木曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40

● 腹部3大がん検診

- 腹部エコーにより肝臓を中心に観察
 - 胃内視鏡（胃カメラ）による上部消化管検診
 - 便潜血反応による大腸がんスクリーニング
- 毎週水曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40
毎週木曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40

● 低線量肺がんCT検診

一般的な肺CTよりも少ない被ばくでCTが受けられます。
月～金曜日 ①12:00 ②15:00

● 乳がん検診

マンモグラフィによる検診
（エコーなどのオプションもあります）
毎週 火曜日・金曜日 14:30～

● 婦人科がん検診

子宮頸がん・子宮体がん検診
（エコーなどのオプションもあります）
毎週月曜日 9:00～
毎週木曜日 14:30～

● 前立腺がんのPSA検診

採血後2時間以内に泌尿器科医師より結果とその後の指示を受けられます。
完全予約制/月・木曜日 11:00

● 大腸がん検診

当院では予約日に消化器内科医師より直接検診結果を聞くことができます。
完全予約制/月～金曜日 14:00～

● 胃がん内視鏡検診

専門的な知識と技術を備えたスタッフが対応させていただきます。
完全予約制/毎週金曜日 ①9:00 ②9:20 ③9:50

● PET検診

全身を一度に調べることができます。
平日/月曜日～金曜日 10:30

予約受付センターの受付時間：毎週 月曜日～金曜日
電話による予約 13:00～16:00 / 窓口による予約 9:00～16:00

患者さんの権利

1. 人格が尊重され、良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 十分な説明を受け、自分が受けている医療について知る権利があります。
3. 自らの意思で、医療に同意し、選択し、決定する権利があります。
4. 個人のプライバシーが守られる権利があります。

患者さんの責務

1. 良質な医療を実現するため、医師等に患者さん自身に関する情報を正確に提供してください。
2. 納得出来る医療を受けるため、良く理解出来なかった説明については、理解出来るまで質問してください。
3. 他の患者さんの医療及び職員の業務に支障を与えないようにご配慮下さい。

患者さんへのお願い

院内の取り決めを守り、病院職員と協同して医療に参加、協力することをお願いします。

独立行政法人 国立病院機構

北海道がんセンター

都道府県がん診療連携拠点病院



〒003-0804
北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3-54
代表 TEL (011) 811-9111
FAX (011) 832-0652
ホームページ
<https://hokkaido-cc.hosp.go.jp/>

QRコード→



● 相談窓口

がん相談支援センター
直通電話 (011) 811-9118
地域医療連携室
直通電話 (011) 811-9117
直通FAX (011) 811-9110
メールアドレス 100-mb05gas1@mail.hosp.go.jp

交通のご案内



- 【地下鉄】 地下鉄東西線「菊水駅」下車、3番出口より徒歩3分
- 【バス】 JR北海道バス「菊水駅前」バス停から徒歩約3分
- 【自動車】 札幌自動車道 札幌インターチェンジから約20分
※病院正面の駐車場は有料となっています（外来患者さんは1回200円、30分以内であれば無料）。できるだけ公共の交通機関をご利用ください